

20. 海外から見た日本文化の魅力を学ぶ科科 (2026年度)

【月 曜日 授業予定表】 講師：金 泰虎(甲南大学教授)、ネルケ無方(曹洞宗僧侶)他

					午 前			午 後		
	回	月	日	曜日	講座数	テーマ	内 容	講 師 名	テーマ	内 容
1 学 期	1	4	6 月	①	★	①入 学 式 (大阪国際会議場)				
	2		13 月	1	日本人論とは何か?	日本人論の善悪を考えて問題にする話	ロマリク・ジャネル (立命館大非常勤講師)	自己紹介、年間学習・行事予定等の説明	クラスオリエンテーション	
	3		20 月	2	調整中		調整中	コーダイオリエンテーション 終了後班役割説明		
	4		27 月	3	青い目が見た日本	坐禅との出会い 来日のきっかけ 修行時代から今日の活動までの話	ネルケ無方 (曹洞宗僧侶)	自主活動	班各担当・班長決定 各担当別会議 (代表者決定他)	
	5	5	11 月	4	道元の教えと坐禅の意味	仏教の教義と坐禅の意義についての話	ネルケ無方 (曹洞宗僧侶)	〃	クラス委員長決定、遠足行先検討	
	6		18 月	5	坐禅体験	坐禅体験	ネルケ無方 (曹洞宗僧侶)	〃		
	7		25 月	6	日本の環境哲学 1	日本における環境との関わりを問題にした哲学思想家の話 1	ロマリク・ジャネル (立命館大非常勤講師)	〃		
	8	6	1 月	②	★	②遠 足 (クラス単位で実施 日程変更可 1学期中に実施)				
	9		8 月	7	日本の環境哲学 2	日本における環境との関わりを問題にした哲学思想家の話 2	ロマリク・ジャネル (立命館大非常勤講師)	自主活動	③社会への参加活動 (準備活動) (活動事例研究)	
	10/11		22 月	8/⑧	夫を見捨てて父兄を助ける女	狭穂姫物語をよむ	崔 鵬偉 (龍谷大学博士研究員)	自主活動		
	12		29 月	9	日中両国の異類婚姻譚へ『捜神記』『日本書紀』『磐満寺縁起絵巻』などを取り扱う	崔 鵬偉 (龍谷大学博士研究員)				
	13		7	6 月	10	摂関家にまつわる百鬼夜行の伝承	藤原師輔・実頼・実資・頼通にまつわる伝承を取り扱う	崔 鵬偉 (龍谷大学博士研究員)	〃	
	14	13 月		11	スイス人として琵琶を調べる	琵琶演奏「熊谷と敦盛」	シルヴァン旭西ギニャール (元大阪学院大学教授)	〃		
			8			夏 休 み				
2 学 期	15	9	14 月	12	日本の漫画とアニメ文化	世界を魅了した日本の漫画とアニメ文化の歴史	アルバロ・ダビド・エルナンデス・エルナンデス (関大講師)	自主活動		
	16		28 月	13	日本の「同人」文化	外交にもつながる漫画やアニメに関する活動の歴史	アルバロ・ダビド・エルナンデス・エルナンデス (関大講師)	〃	大阪市消防局による防災学習 (仮日程)	
	17		5 月	14	近くて遠い、でもやっぱり近い中国と日本	中国・日本の医薬文化を取り扱う	向 静静 (立命館大学准教授)	〃	コーダイ健康まつり準備	
	18	10	8 木	④	★	④コーダイ健康まつり (日程・場所 未定)				
	19		19 月	15	調整中		向 静静 (立命館大学准教授)	自主活動		
	20		26 月	16	茶文化と日本人	外国人の目から見たその特殊性や特異性を示す	廖 欽彬 (中山大学哲学系教授)	〃	ミニ校外学習 (仮日程)	
	21		11	9 月	17	武士道と日本人	近現代日本人の行動観への影響を外国人の観点で考える	廖 欽彬 (中山大学哲学系教授)	〃	
	22	16 月		18	文人画と西洋絵画	日本人の美学の特殊性を見る	廖 欽彬 (中山大学哲学系教授)	〃	コーダイフェスタ発表準備	
	23	25 水		⑤	★	⑤コーダイフェスタ (日程・場所 未定)				
	24	12	30 月	19	研究者の目線から見た日本文化	日本語学習と日本文化のイメージ	吉田ヴァルヴァーラ (キーク国立言語大主任講師)	自主活動		
	25		7 月	20	日常生活から見た・感じた日本文化	家族、子育て、メンタリティー、住まい、学校教育	吉田ヴァルヴァーラ (キーク国立言語大主任講師)	自主活動		
	26		14 月	21	講義	自主企画講座 (仮日程)		〃		
	27		21 月	22	世界文学としての方丈記	方丈記の海外受容を紹介して、本作品を世界文学として位置付ける。	ブラダン・ゴウランガ・チャラン (ZEN大学講師)	〃	ミニ校外学習 (仮日程)	
						冬 休 み				
3 学 期	28	1	18 月	23	南方熊楠と方丈記 英訳	南方熊楠の海外活動を紹介し、方丈記英訳を扱う	ブラダン・ゴウランガ・チャラン (ZEN大学講師)	自主活動		
	29		25 月	⑥	★	⑥社会への参加活動・・・ (仮日程; 1学期～3学期の間に活動日を1回設定)				
	30	2	1 月	24	日本社会の記念日	韓国の記念日と比較的視点	金 泰虎 (甲南大学全学共通教育センター教授)	自主活動		
	31		8 月	25	日本社会における成人	韓国の冠礼と比較的考察	金 泰虎 (甲南大学全学共通教育センター教授)	〃		
	32		15 月	26	日本社会における白黒の色彩	日本社会の葬儀における喪服・喪章・喪幕・遺影の色彩と韓国	金 泰虎 (甲南大学全学共通教育センター教授)	〃	成果発表会準備	
	33		22 月	27	学習成果発表会					
	34			⑦	⑦修 習 ⑦					
	35	3	1 月	⑧	★	⑧・⑨卒 業 旅 行 (クラス単位で実施 1泊2日)				
	36		2 火	⑨						
授 業 (自主企画、成果発表会含む)					27 (講座数列1～27)					
学 習 事 業 (① ～ ⑨)					9 (講座数列①～⑨)					
合 計					36					
2025. 9. 22										

2025. 9. 22

注) 1. 日程、カリキュラム内容等は、都合により変更になる場合があります。